風間書房・新刊のご案内

与謝野寛晶子の書簡をめぐる考察

―『天眠文庫蔵与謝野寛晶子書簡集』『与謝野寛晶子書簡集成全四巻』―

逸見久美 著

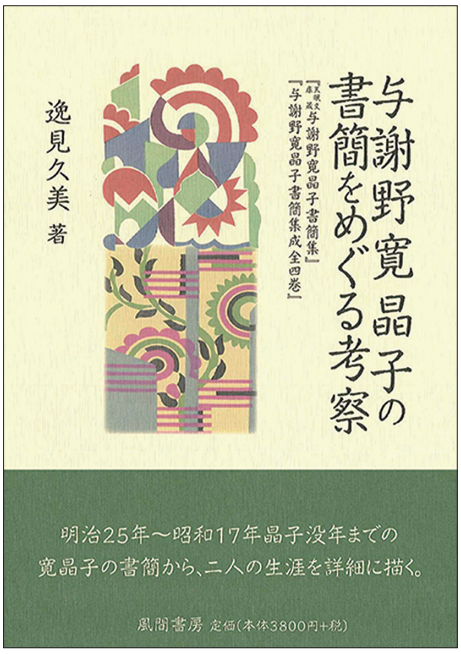
A5判・四〇八頁・定価（本体三八〇〇円＋税）

明治二五年～昭和一七年晶子没年までの寛晶子の書簡から二人の生涯を詳細に描く。『天眠文庫蔵与謝野寛晶子書簡集』『与謝野寛晶子書簡集成全四巻』を編んだ著者による書簡研究の最新版。

☆☆☆著者紹介☆☆☆

逸見久美（いつみ　くみ）

早稲田大学文学部国文学科卒業、同大学院修了。実践女子大学日本文学研究科博士課程修了。一九七五年三月『評伝与謝野鉄幹晶子』により文学博士号の学位取得。女子聖学院短期大学教授、徳島文理大学教授、聖徳大学教授を歴任。



【目次】（抜粋）

はじめに　四つの与謝野研究

第一章　明治期の書簡

第一節　明治二五年～二九年

第二節　明治三〇年～三二年　心揺れる若き日の鉄幹

第三節　明治三三年　「明星」経営の困窮と晶子の評判／鉄幹と出会うまで／「われはつミの子、君もつミの子」

第四節　明治三四年　粟田山をめぐって／鉄幹への最古の書簡／晶子上京の杞憂

第五節　明治三五年～三九年　ゾラとドレフェス事件／貧困と韻文朗読会／天佑社の企画

第六節　明治四〇年～大正元年　「明星」廃刊と寛の自然主義論／寛の渡欧の夢叶って／晶子の渡欧を勧誘する寛

第二章　大正期の書簡

第一節　大正二年～四年　帰国する寛を迎える晶子／アウギュスト誕生／晶子の百首屏風／エレンヌ誕生

第二節　大正五年～七年　六男寸の誕生と死亡／晶子懐紙千首会／天佑社と「晶子源氏」／「源氏口語訳」の遅延

第三節　大正八年～一〇年　「源氏物語礼讃歌」の成立／書簡にみる旅の歌／文化学院創立／「明星」復刊

第四節　大正一一年～一四年　天佑社倒産／関東大震災による被害／『鷗外全集』と『日本古典全集』

第三章　昭和期の書簡

第一節　昭和元年～三年　『日本古典全集』好調から破綻へ／「明星」終刊から「冬柏」創刊まで／光と迪子の結婚

第二節　昭和四年～七年　晶子生誕五十年記念頒布会／歌壇への対抗／二人の旅の歌

第三節　昭和八年～一〇年　寛の還暦祝賀／生きて「語原考」を完成させたい／寛の昇天

第四節　昭和一一年～一七年　病後も続く歌作の旅／病と闘いつつ『新新訳源氏物語』執筆／第二回脳溢血の発症前後

風間書房

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町1-34

電話 03-3291-5729　FAX 03-3291-5757　振替 00110-5-1853

http://www.kazamashobo.co.jp　E-mail pub@kazamashobo.co.jp